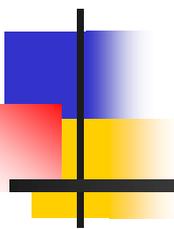


深刻化する世界の食料安全保障



FAO日本事務所長
横山光弘



世界の食料安全保障の現状

- 2007年から2008年にかけての食料価格の高騰
- その後、金融危機に端を発する世界経済不況
- 飢餓人口は10億人に増大
- 長期的には、環境・資源的制約の下で、この10億人に加えて、増大する人口をいかに養っていくかという課題

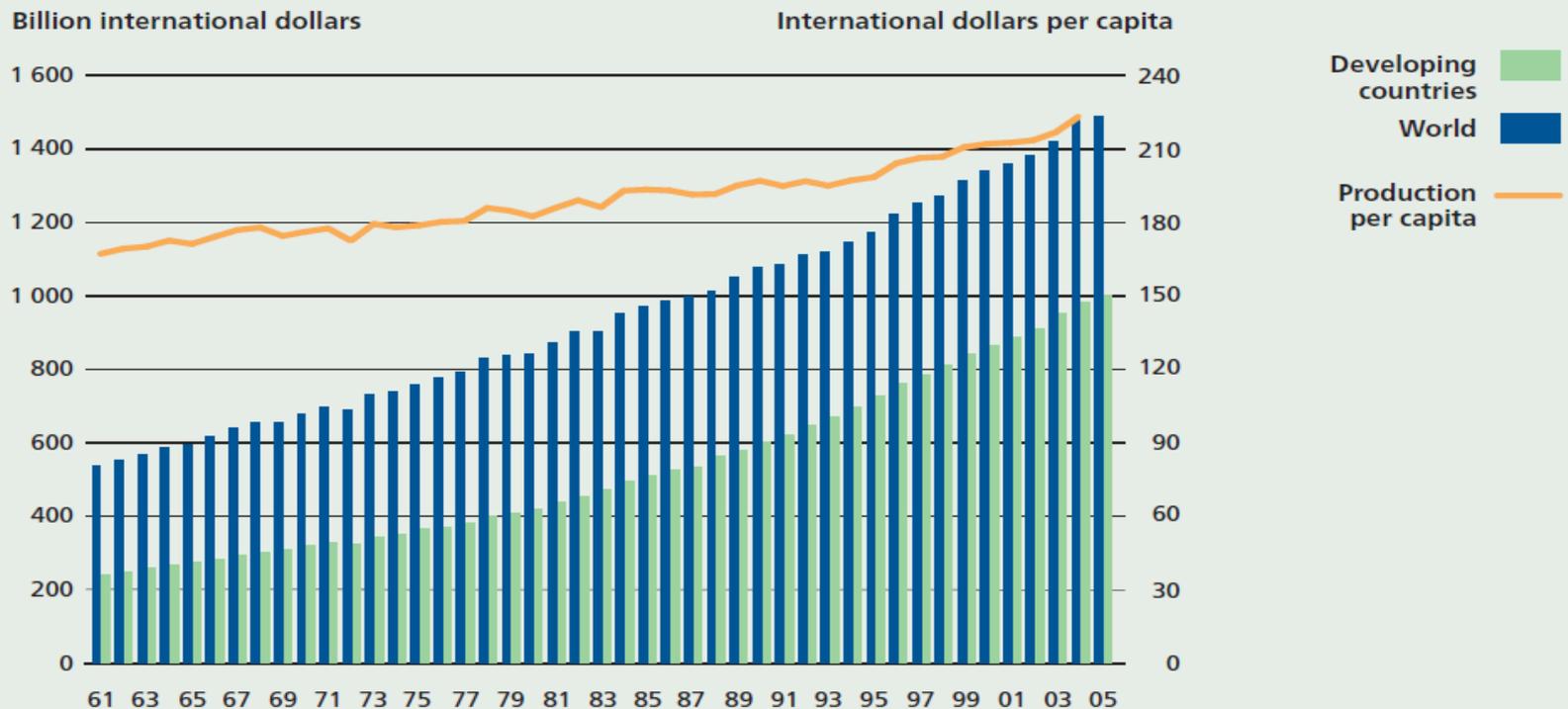


世界食料サミット

- 2009年6月のFAO理事会で食料安全保障に関する世界食料サミットが2009年11月16日から18日まで開催されることが決定
- 2025年までの飢餓根絶
- 世界の食料安全保障を統治するためのシステム
- 農業者支援
- 農業分野のODA
- 年間300億ドルの農業投資等
- 危機への早期対応メカニズム

食料需給の長期的動向(1 生産)

FIGURE 14
Total and per capita agricultural production



Source: FAO

食料需給の長期的動向(2 価格)

FIGURE 30
Long-term food and energy price trends, real and nominal

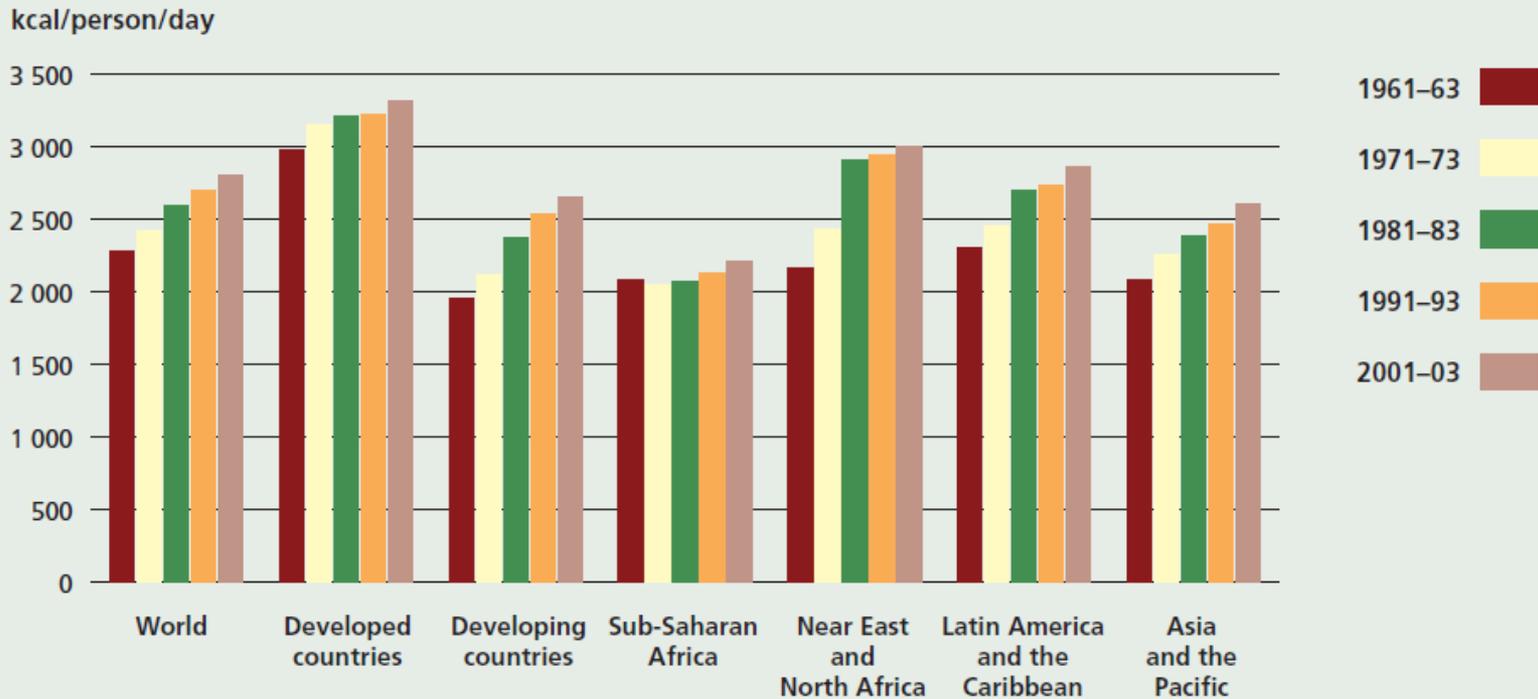
Index (2000 = 1)



Source: FAO

食料需給の長期的動向(3 消費)

FIGURE 18
Per capita food consumption



Source: FAO, 2006h.



食料への権利

- 1941年 ルーズベルト大統領 「4つの自由」演説
- 1948年 世界人権宣言
- 1966年 「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」採択
- 1976年 同規約施行
- 2004年 食料の権利に関するガイドライン採択

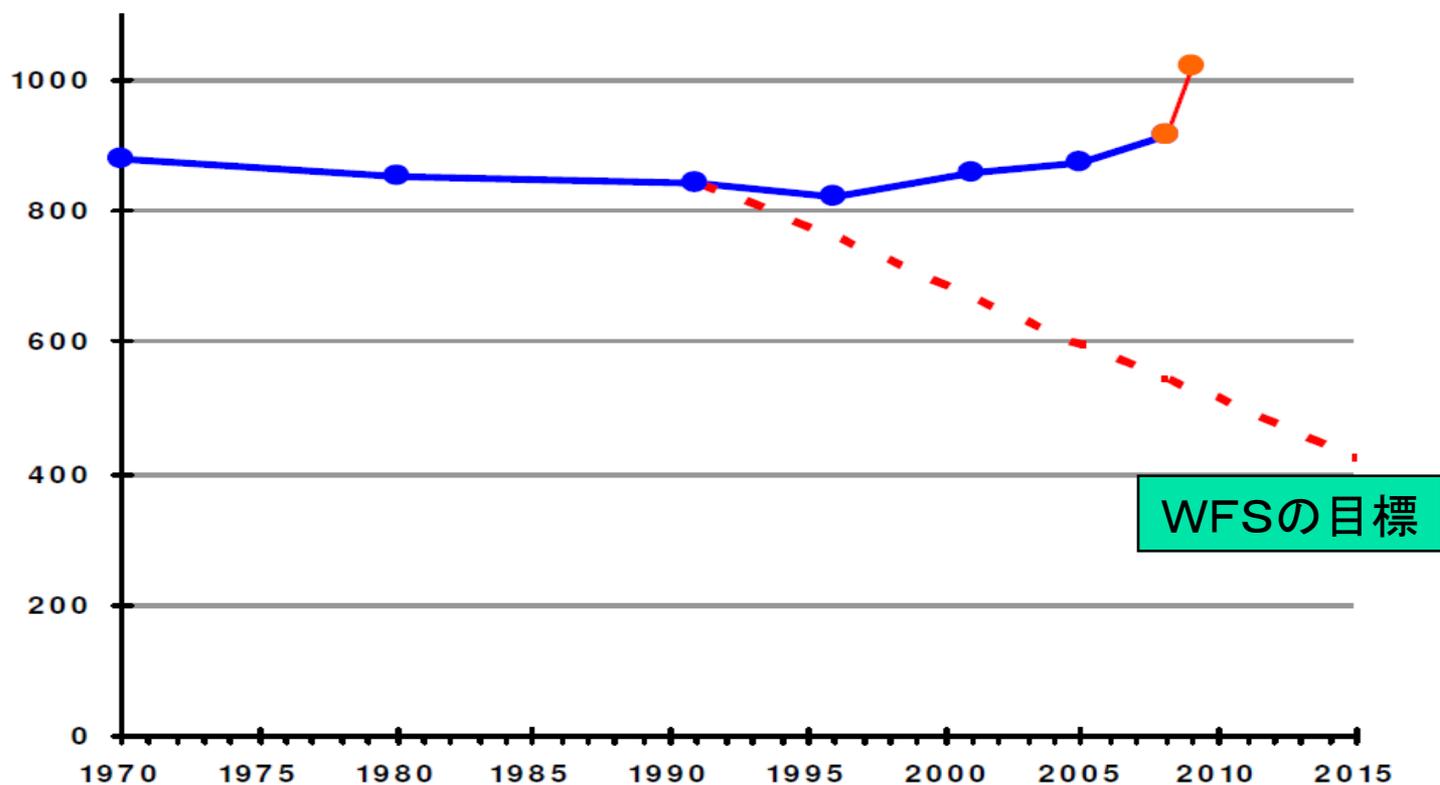


国際社会の目標

- 1996年の世界食料サミットにおいて、2015年までに飢餓人口の**数**の半減を約束
- ミレニアム開発目標において、2015年までに飢餓人口の**比率**の半減を約束
- G8サミット共同声明(2009年7月)
「農業及び食料安全保障への長期に亘る過小投資、価格の動向並びに経済危機の複合的効果は、開発途上国における飢餓及び貧困の拡大につながり、更に1億人以上の人々が極度の貧困に陥り、**ミレニアム開発目標の達成に向けたこれまでの進捗を危機にさらしている。**」

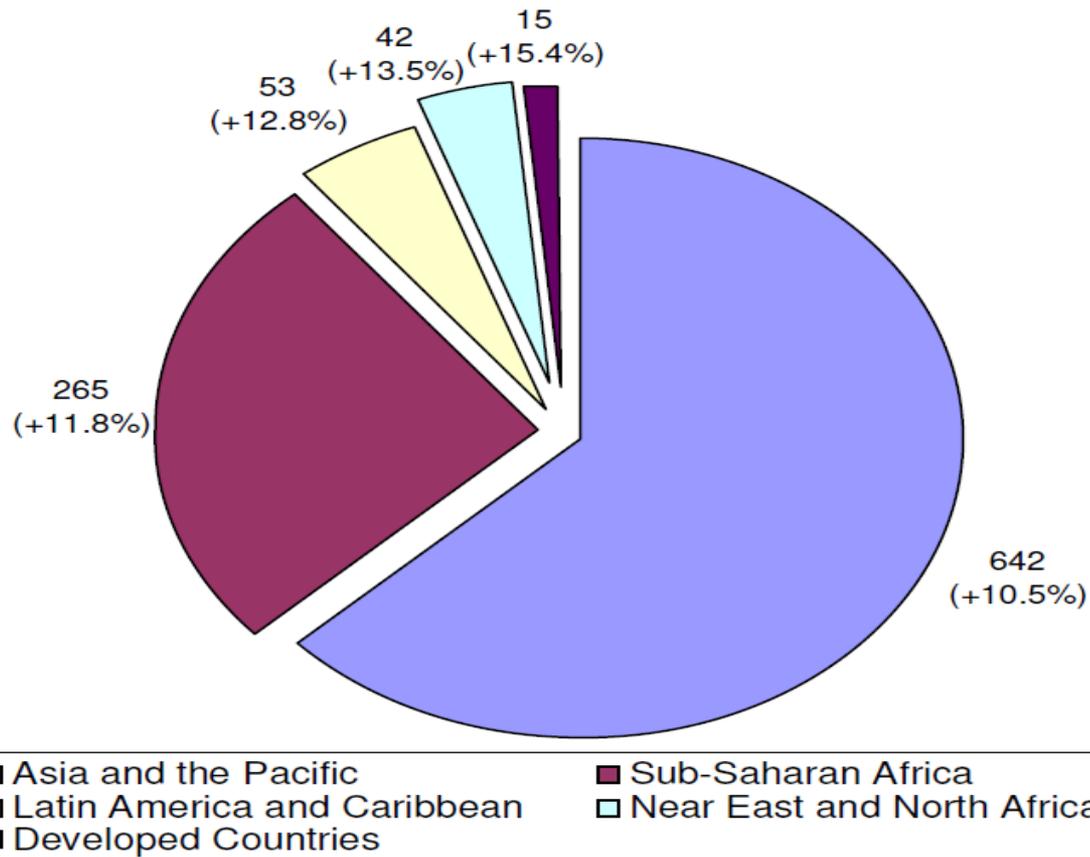
飢餓人口

(百万人)



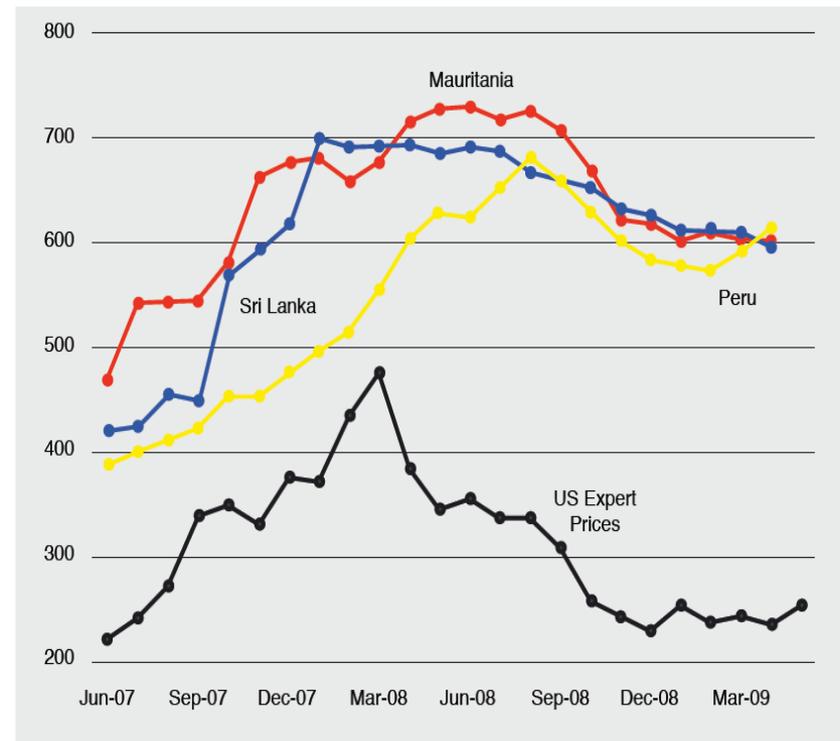
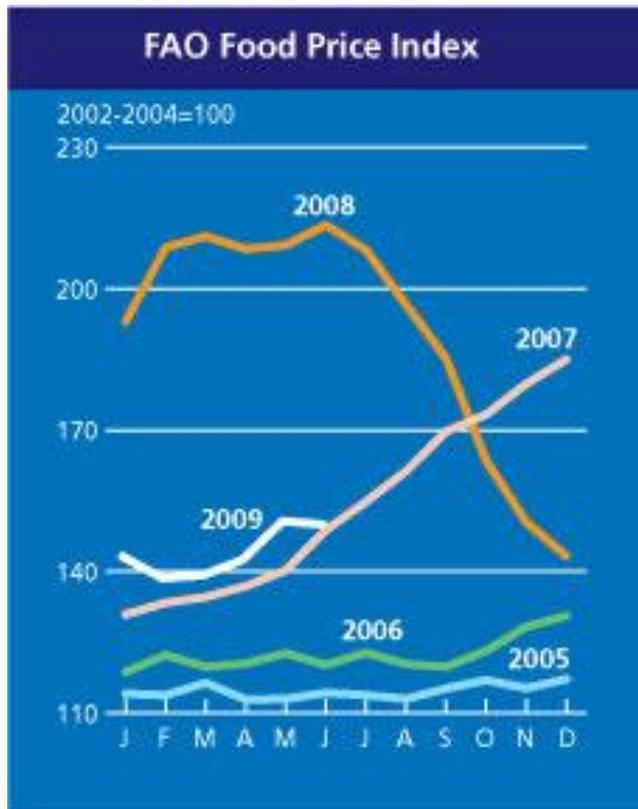
Source: FAO

地域別の飢餓人口(百万人)



食料価格高騰(1 価格の推移)

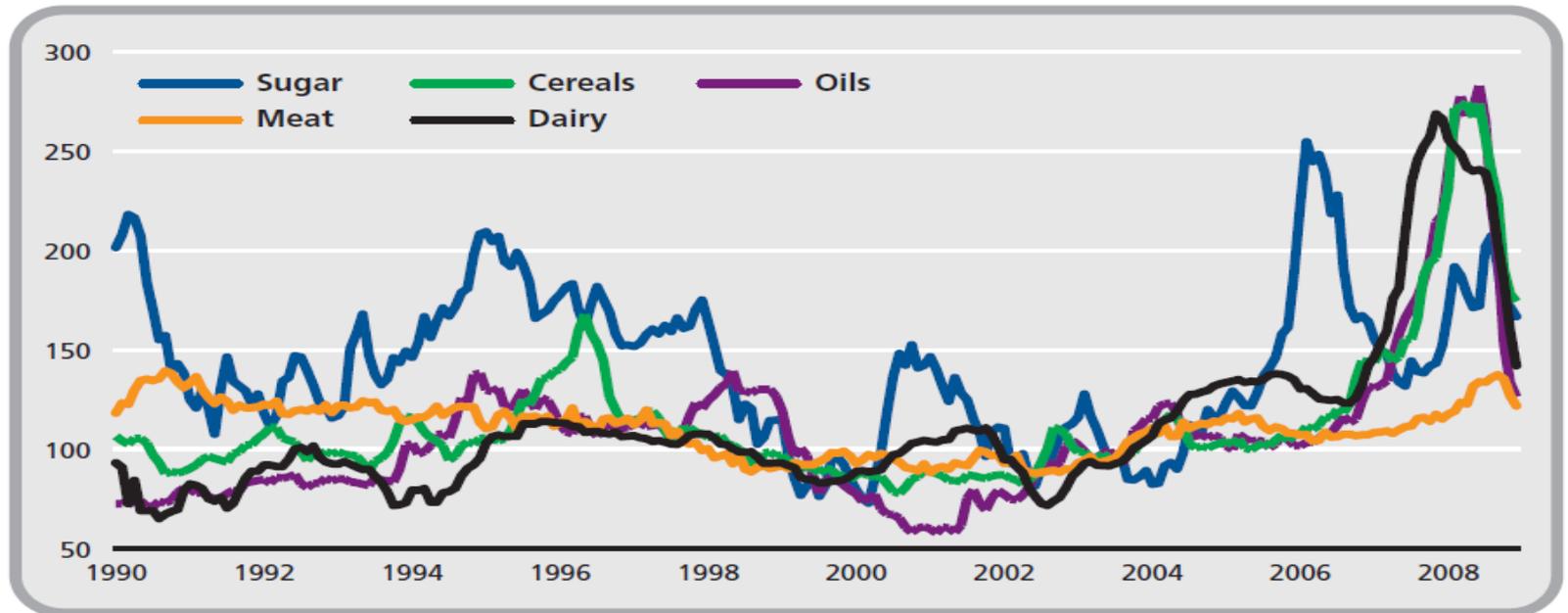
■ 小麦の価格(ドル/トン)



Source: FAO

食料価格高騰(2 品目ごとの動向)

Evolution of monthly FAO price indices for basic food commodity groups, 2002-2004=100

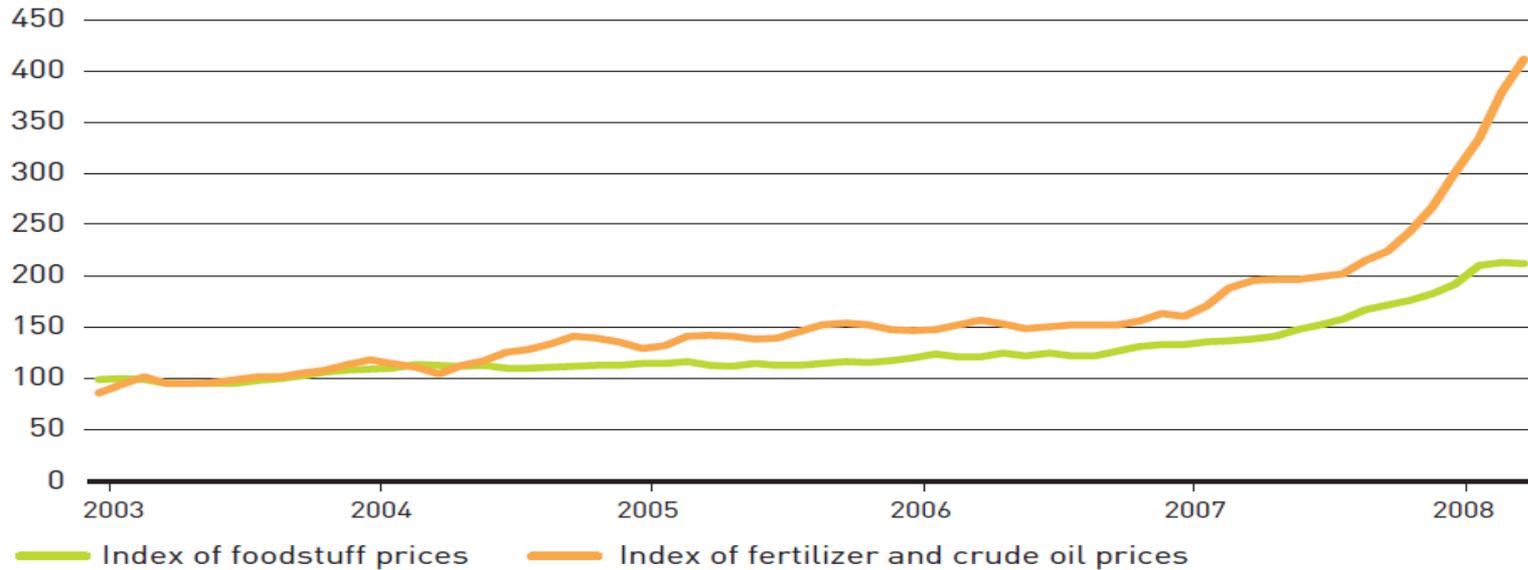


Source: FAO

食料価格高騰(3 生産資材価格)

Input prices outpace food prices

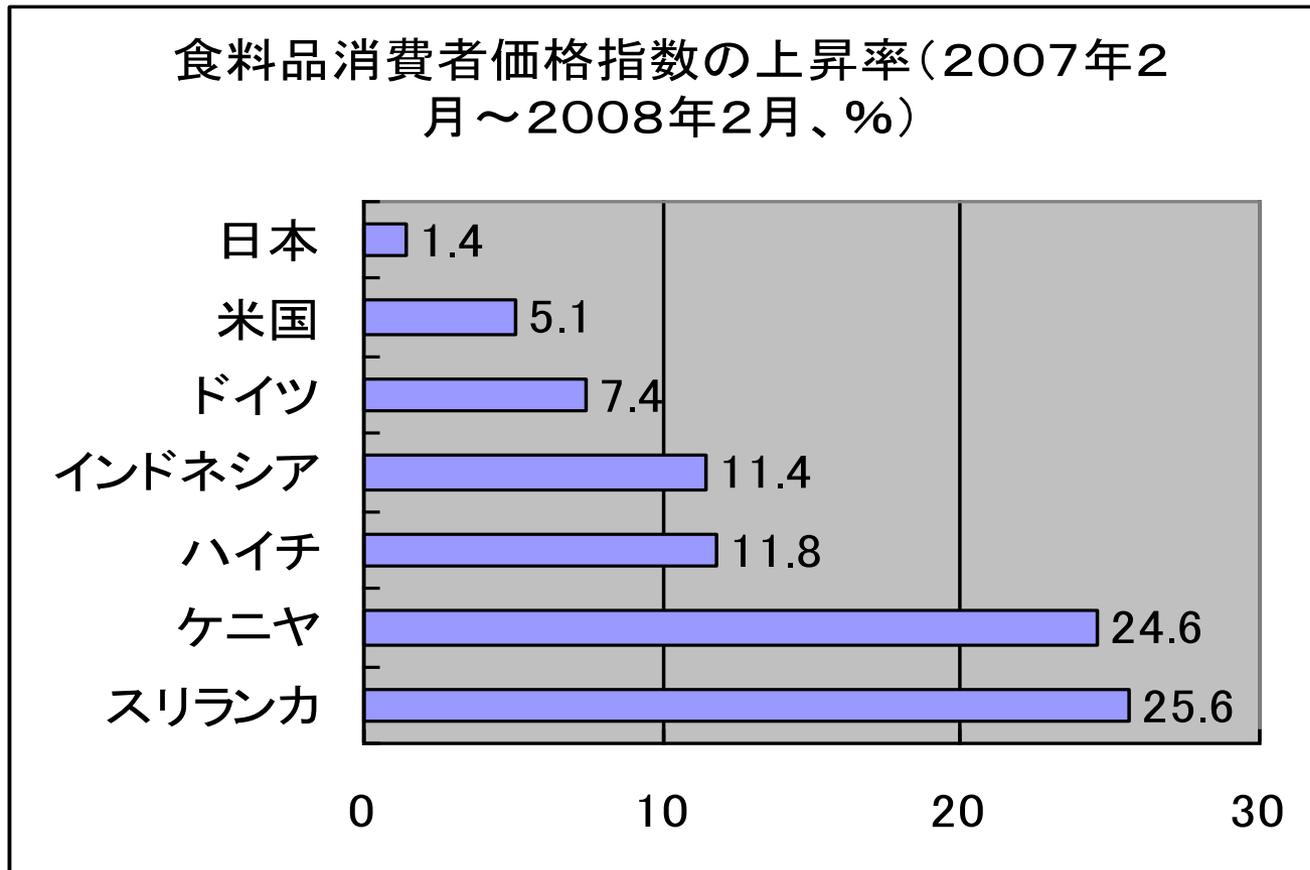
Price indices



Note: Base = 2003.

Source: FAO.

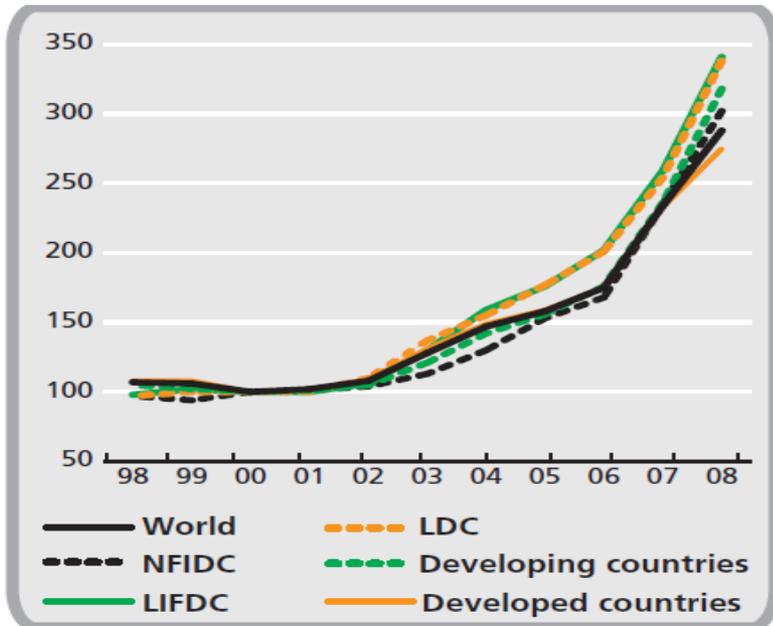
食料価格高騰(4 消費者価格)



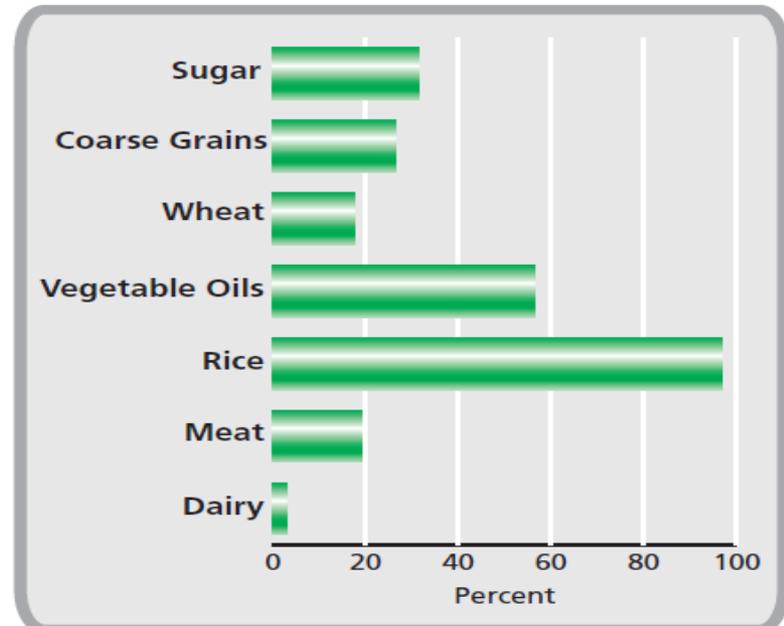
Source: FAO/OECD

食料価格高騰(5 食料輸入代金)

Food import bills of developed and developing countries (1998-2000=100)



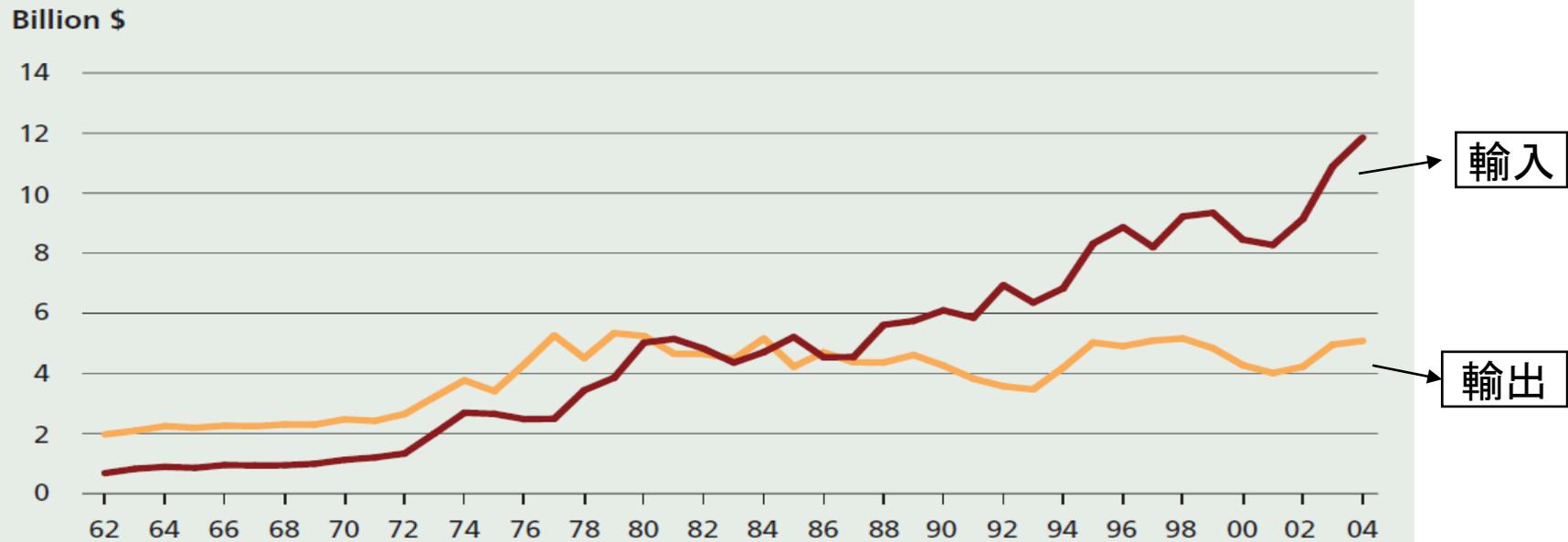
Forecast changes in global food import bills by type (2008 over 2007)



Source: FAO

食料価格高騰(6 後発開発途上国の農産物貿易収支)

FIGURE 23
Agricultural trade balance of least-developed countries



Source: FAO

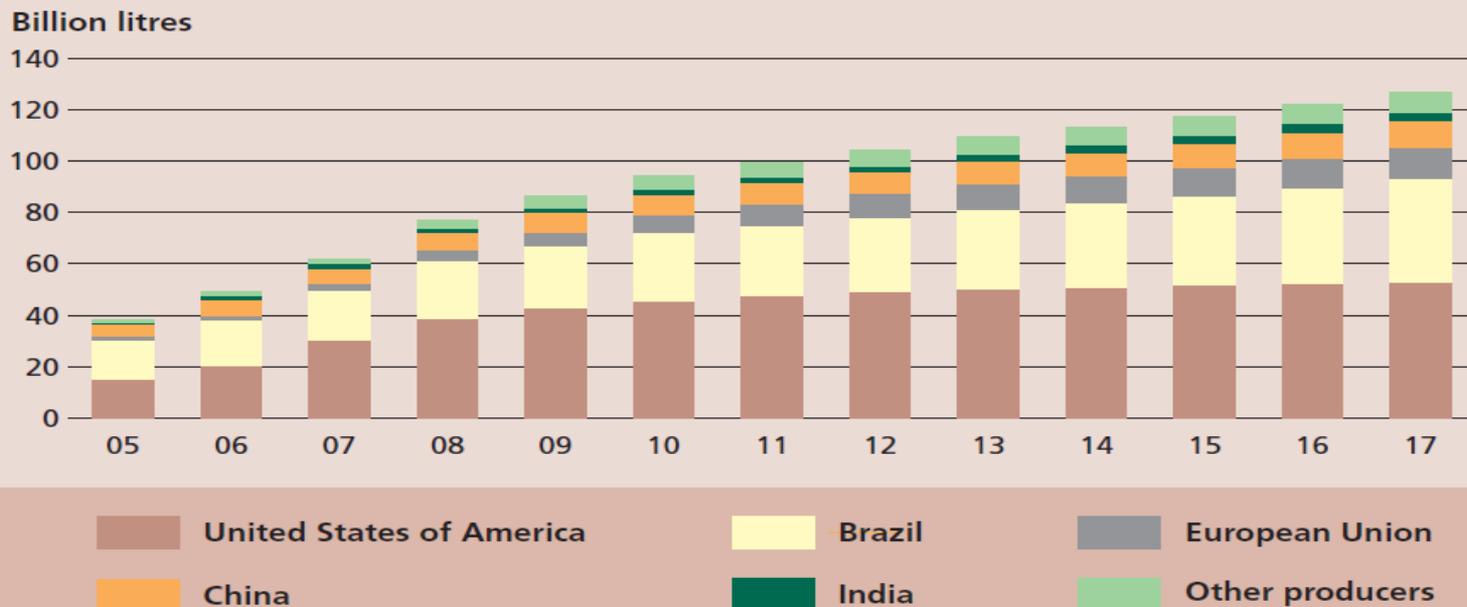


食料価格高騰(7 要因)

- バイオ燃料、原油価格の上昇による生産コスト増、新興国の経済成長、人口増加
- 生産減少、低い穀物在庫率
- 投機資金の流入、輸出規制
- 開発途上国農業の停滞
投資の不足、ODAに占める農業分野の割合の低下、研究・開発資金の不足、単収の伸びの停滞

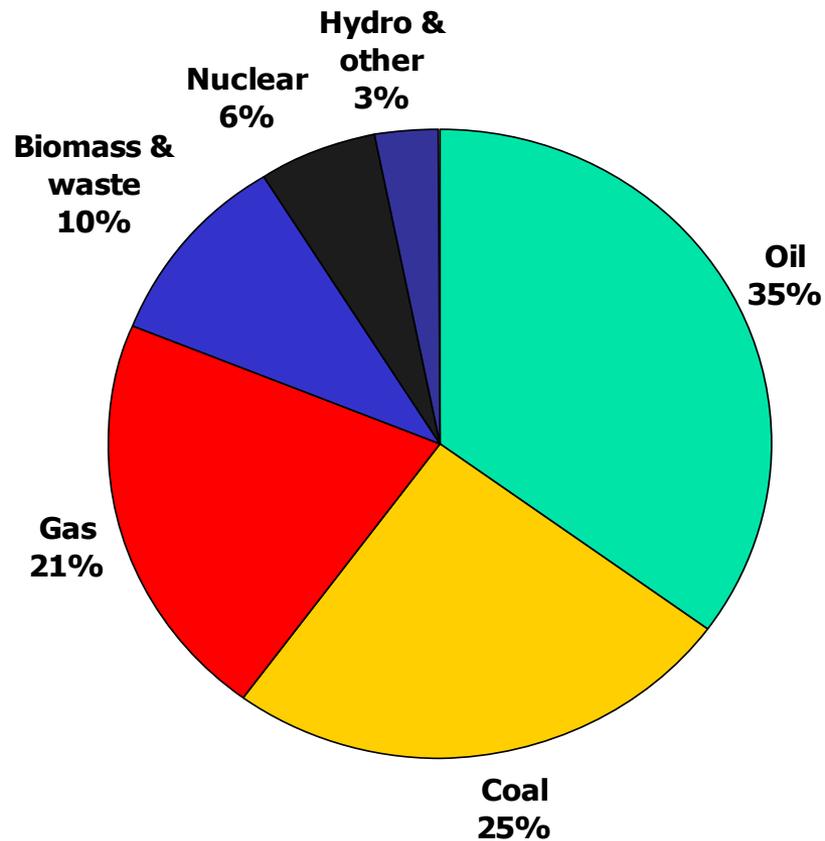
バイオ燃料

FIGURE 17
Major ethanol producers, with projections to 2017



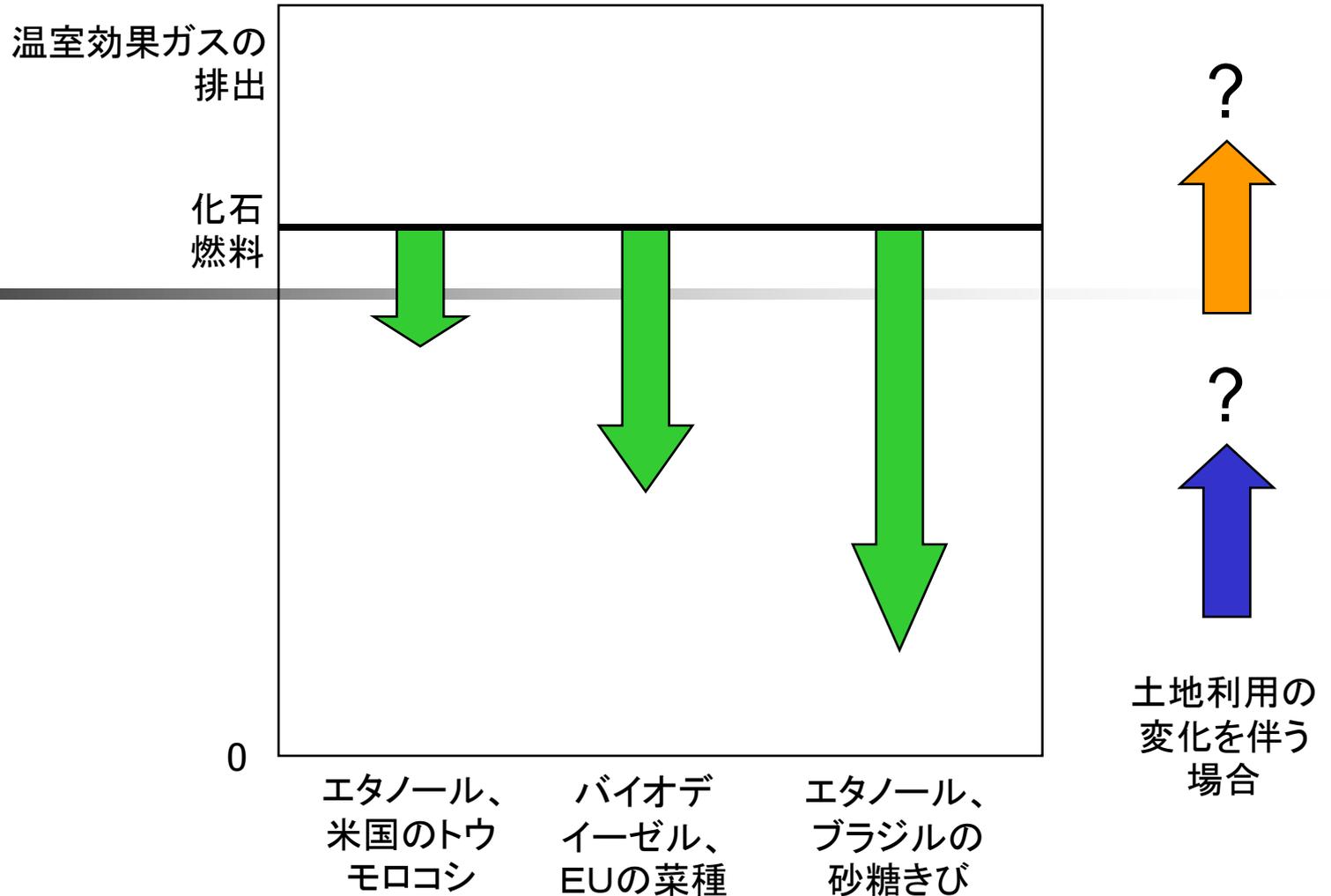
Source: based on data from OECD-FAO, 2008.

エネルギー安全保障への影響は大きくない



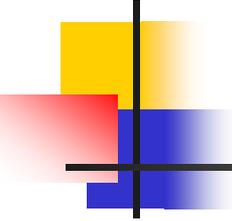
Source: IEA

気候変動への影響は多様



農業・食料安全保障への影響は大きい

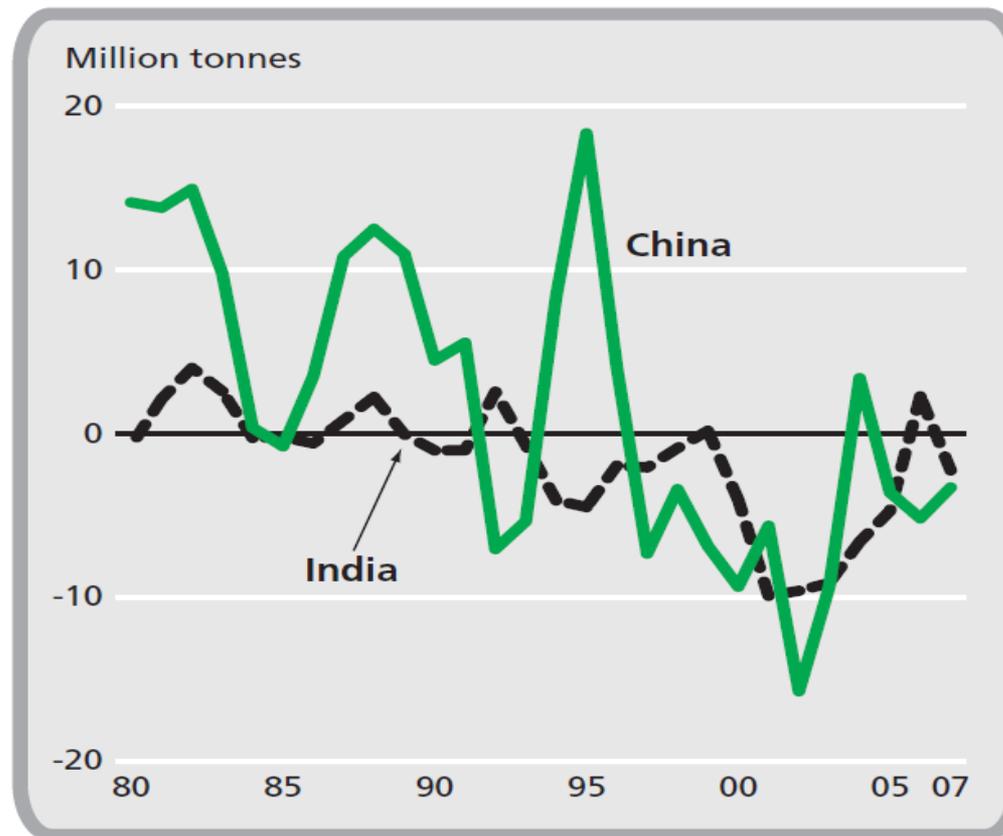
	バイオ燃料向けの比率
ブラジル	サトウキビの50%
米国	トウモロコシの30%
EU	菜種の60%
世界	穀物の5% 油糧種子の9% 2005年以降の需要増加分の半分以上



小規模バイオプロジェクト

- マリ ジャトロファ
- タンザニア サイザルアサ
- エチオピア エタノール

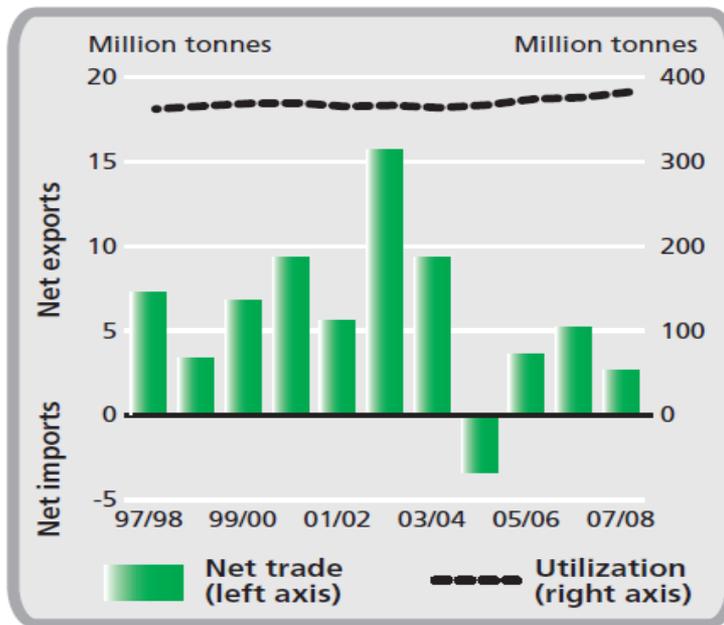
中国、インドの穀物純輸入(輸入-輸出)



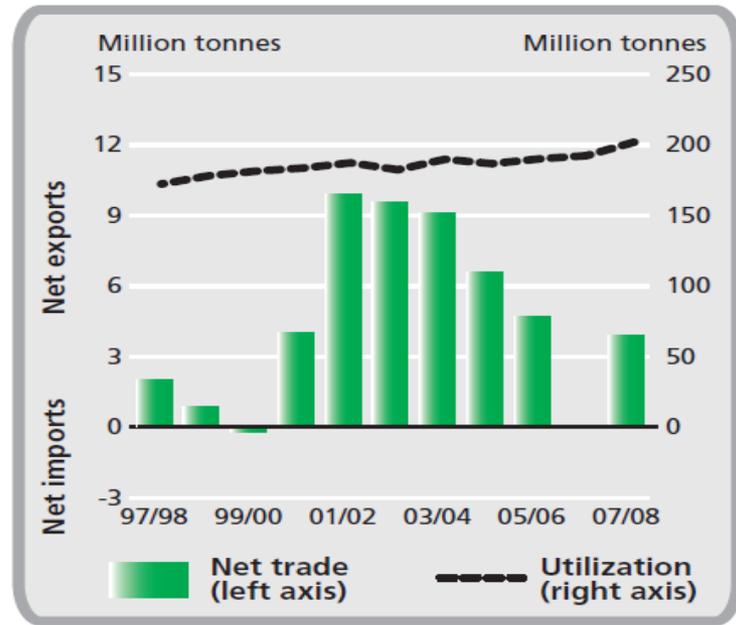
Source: FAO

中国、インドの穀物貿易

Cereal utilization and net trade in India



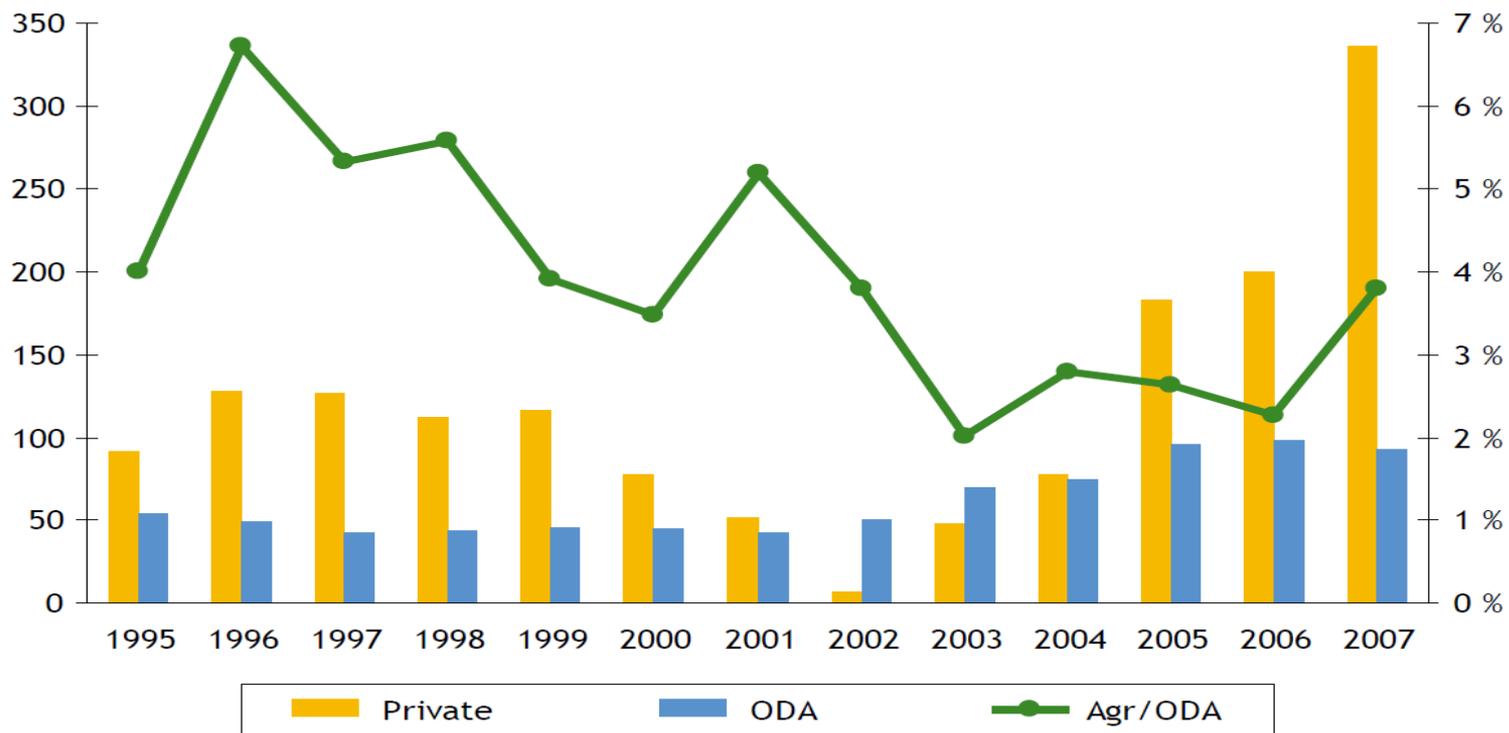
Cereal utilization and net trade in India



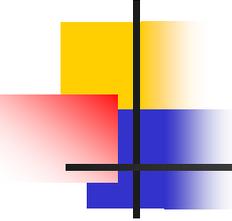
Source: FAO

農業への投資の不足と最近の動向

開発途上国への資本の流れ(10億ドル、%)

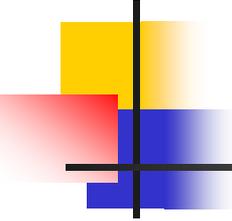


Source: OECD, Creditor Reporting System, 2009



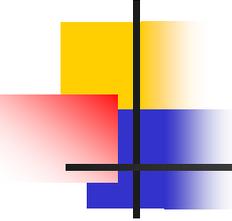
投資の動機

- 食料安全保障(資源的制約、輸入依存への不安)
- バイオエネルギー
- その他



パートナーシップでチャンスをつかむ

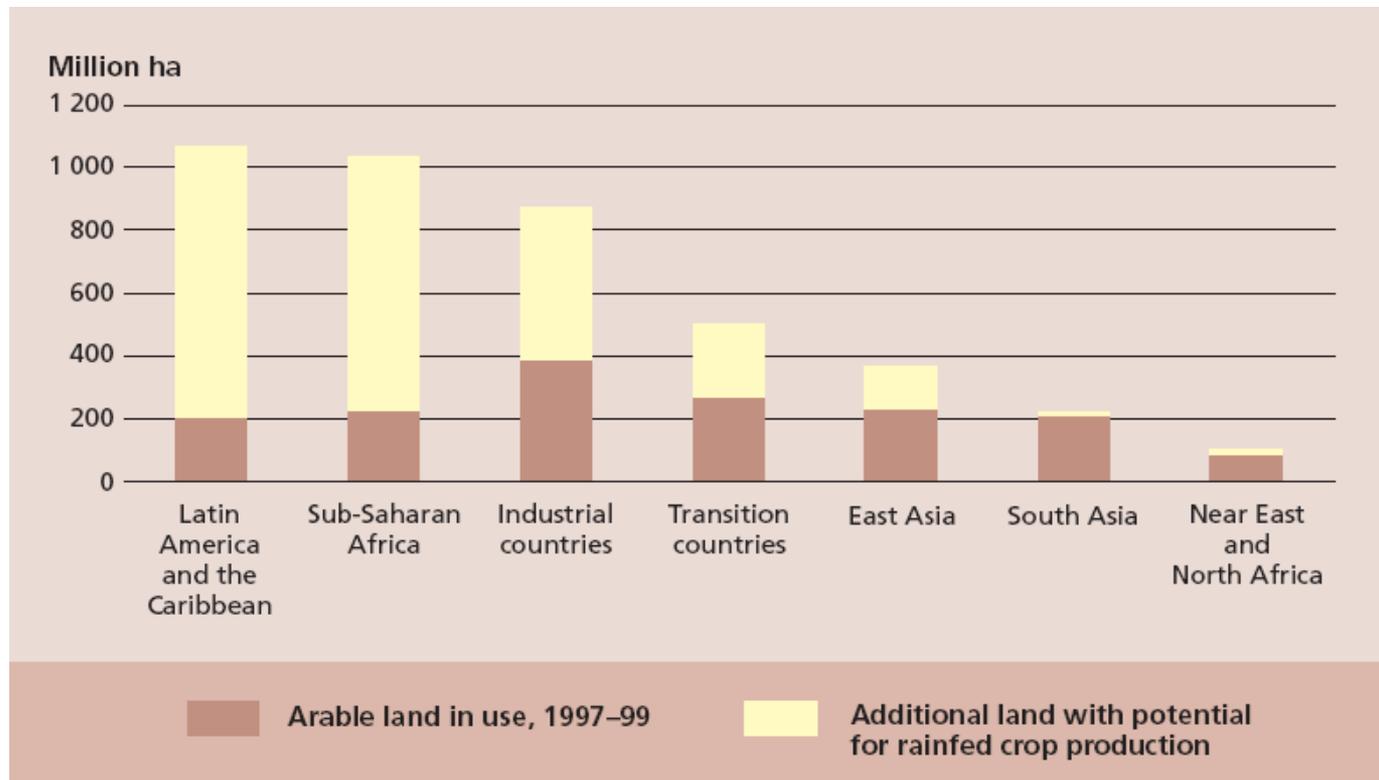
- 技術移転
- 品質改善
- 雇用創出
- 乗数効果
- 国内市場での食料供給増加
- 輸出



土地取得以外の方策

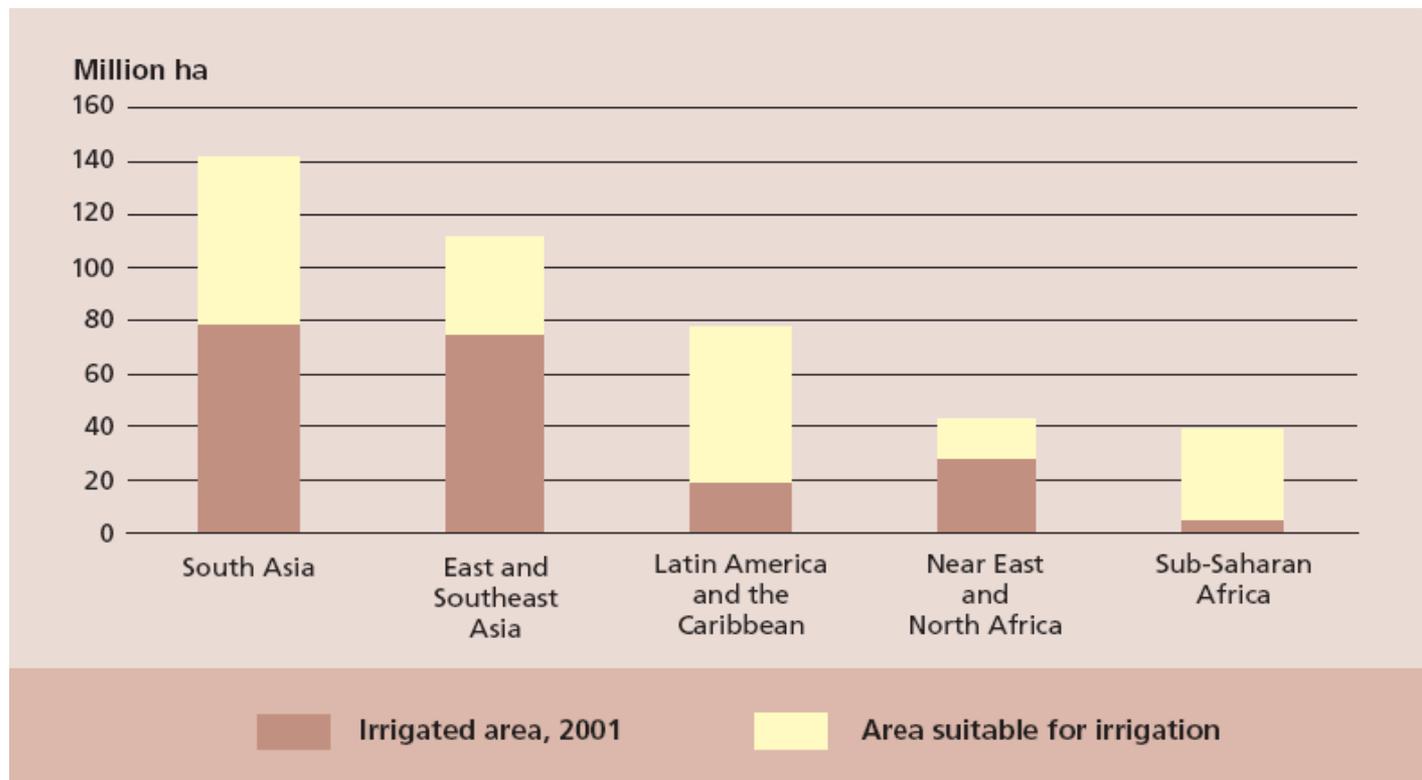
- 緩やかな契約生産の取極め
- 二国間協定
- インフラへの投資
- 生産・貿易の拡大

農地拡大の可能性



Source: FAO

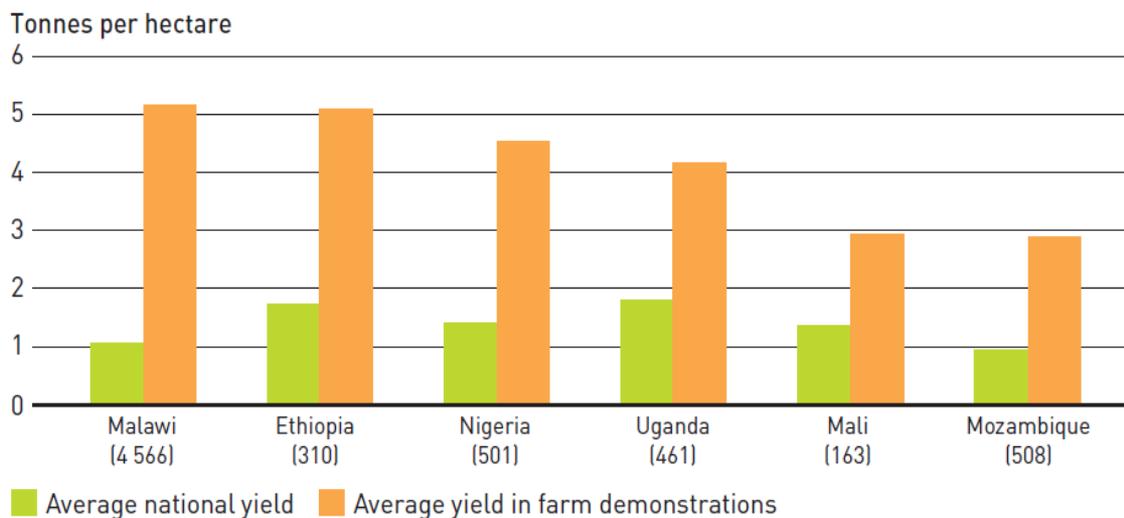
灌漑の可能性



Source: FAO

穀物の単収

Maize: exploitable yield gaps in sub-Saharan Africa



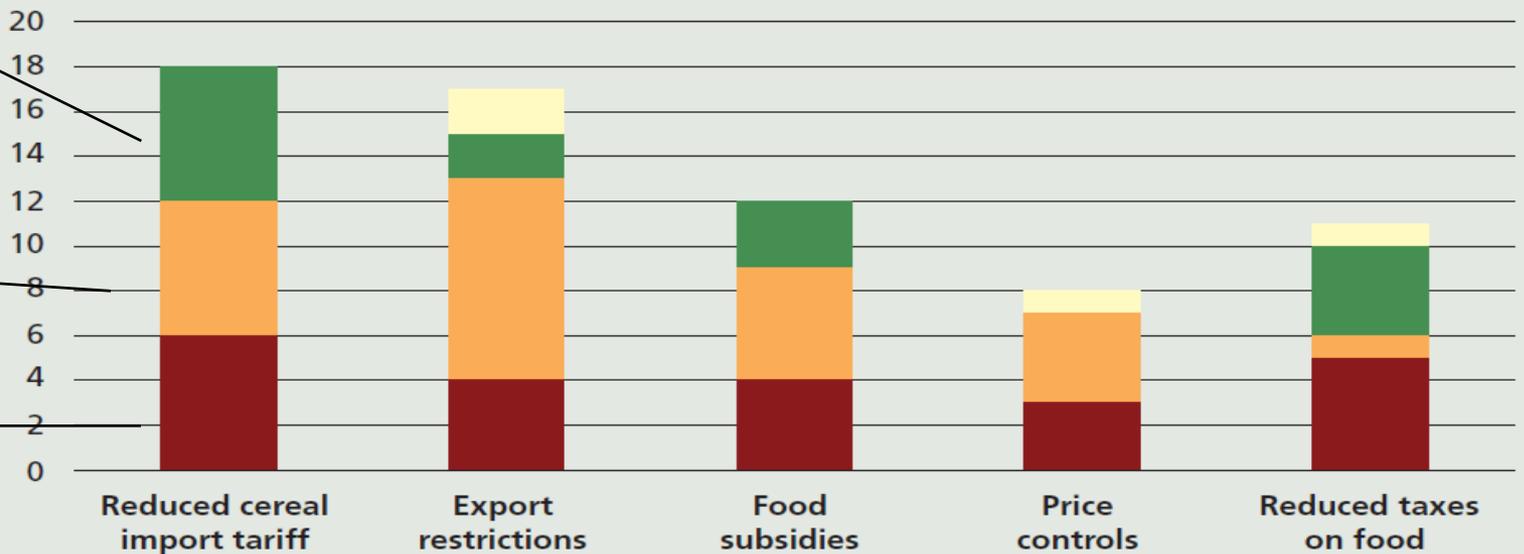
Notes: Number of plots in parentheses. Open pollinated improved varieties in all cases except Nigeria, which uses hybrids. Data are for 2001 for Ethiopia, Mozambique, Nigeria and Uganda; 2002 for Malawi; and an average of 2001, 2002 and 2004 for Mali.

Source: World Bank. 2007. World Development Report 2008: Agriculture for Development. Washington, DC.

食料価格高騰に対する政策対応

FIGURE 40
Policy responses to high food prices, by region

Number of countries

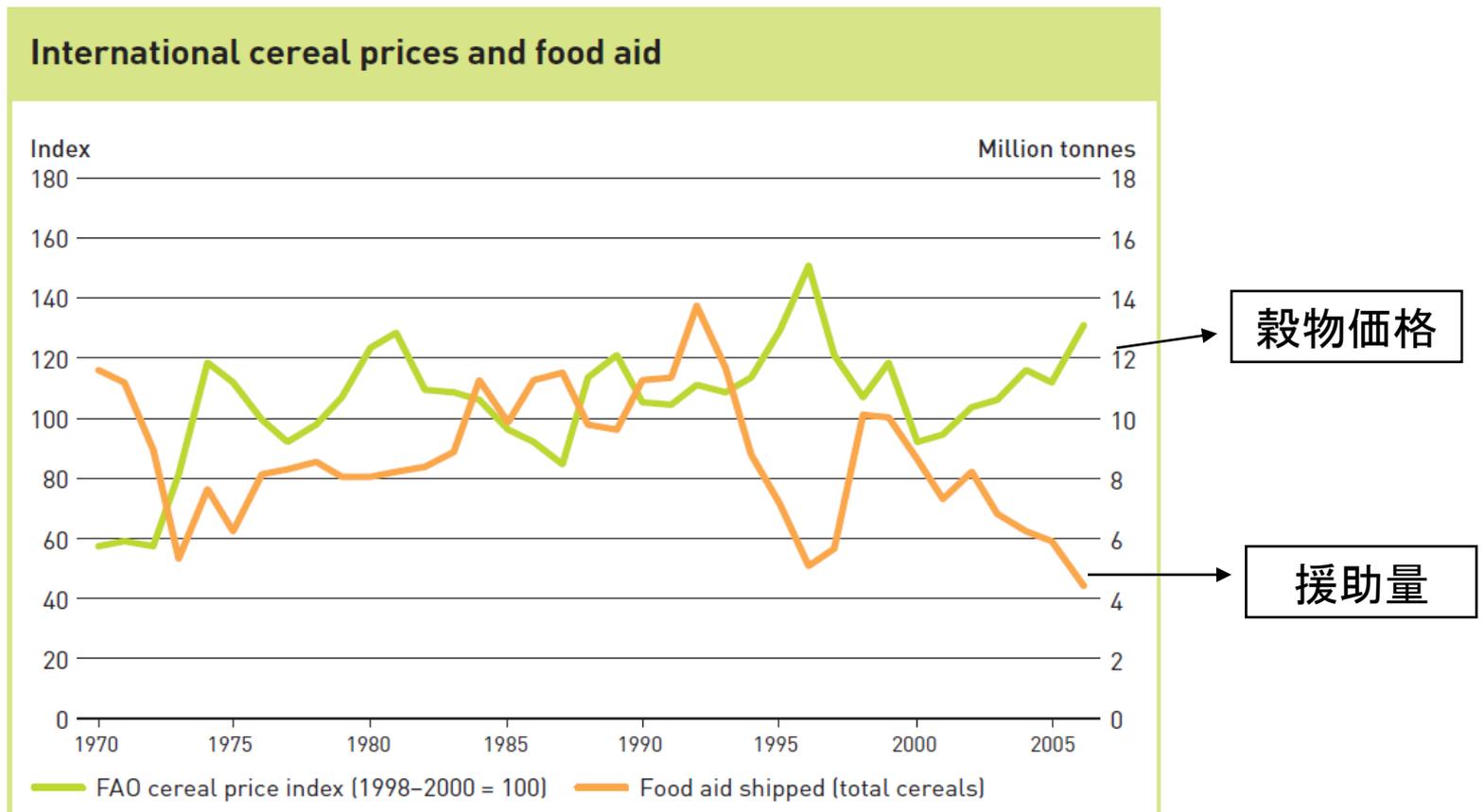


南米

アジア

アフリカ

穀物価格と食料援助

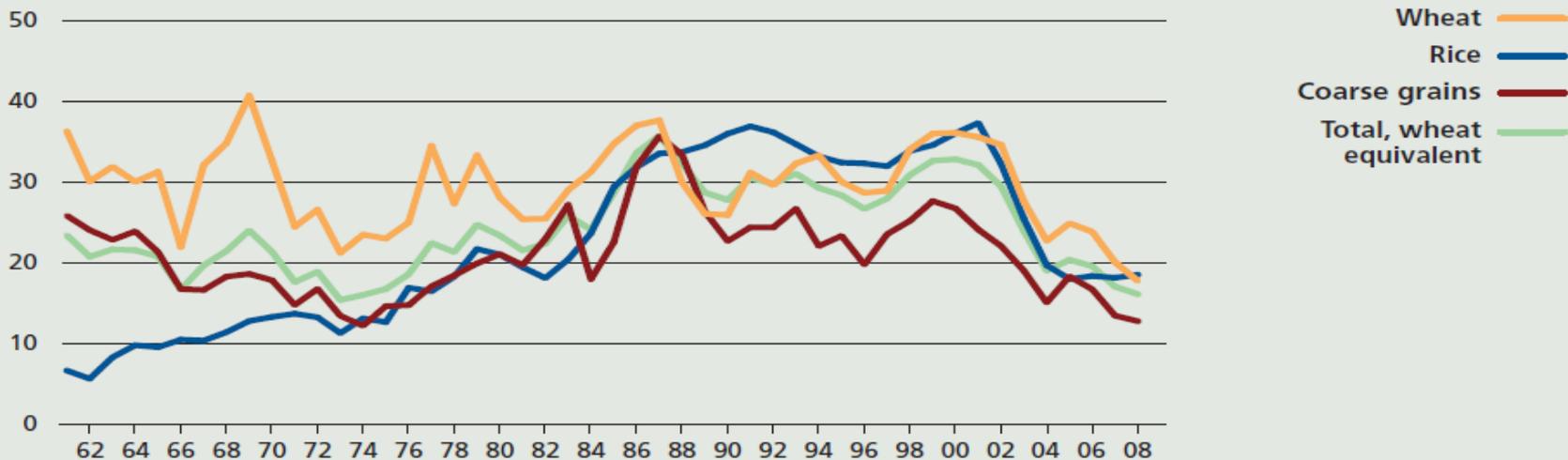


Source: FAO

穀物在庫

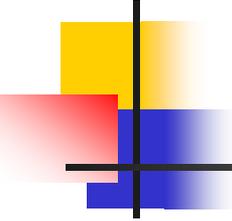
FIGURE 36
Ratio of global stocks to use

Percentage



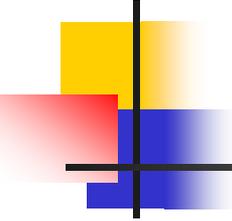
Note: Wheat equivalent based on relative 2000–02 prices from OECD–FAO, 2008.

Source: Stock and use data from USDA Foreign Agricultural Service, 2008.



対応方向

- 短期的には、困窮している人々へのセーフティネットを改善するとともに、小規模生産者が食料生産を拡大できるように肥料、種子等へのアクセスの確保が必要
- 中長期的には、飢餓問題の根本的な解決のためには、低所得食料不足国の農業生産の拡大が鍵であり、そのための技術的、資金的、政策的支援が不可欠



結び

- 経済危機は農業への投資を減少させるおそれ
- しかし、このような時期にこそ、農業への投資の増加が必要
- 非農業セクターの成長、効果的なセーフティネットと併せて、健全な農業セクターがあって、はじめて、国際的な目標に沿って、持続的に飢餓・貧困の根絶が可能